



# Corvette

## STING RAY

組立ガイド

1963・Z06/N03



シボレー社C2型コルベットの初代モデル「1963コルベットスティングレイ」の先鋭的なデザインは、今なお色褪せることがありません。モデリングしたのはV型8気筒327エンジンを搭載し、Z06（ジーオーシックス）と呼ばれるレーシングカー顔負けのモンスタークーペです。シンボルであるスプリットウィンドウと回転式リトラクタブルヘッドライト、ゴージャスなレッドインテリアと美しいセブリングシルバー塗装など、ディテールは細部に至るまでオリジナルに忠実に再現されています。





Corvette  
STING RAY  
1963 • Z06/N03



## パック①組立ガイド

ステージ①フロントボディパネル・エンブレムほか  
ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか  
ステージ③フードリインフォースメント・ベント・ラッチ

ステージ④タイヤ1  
ステージ⑤フューエルインジェクションユニット

### ● 組み立て前の注意点 ●

- ①開梱したパーツには、あとのステージで使用するパーツも含まれます。使用しないパーツやネジは、紛れないようにタグなどを付けて保管しておいてください。
- ②予備ネジが付属しています（必要本数+1個が予備）。
- ③異なるネジが交ざらないように注意してください。見た目はよく似ていますが、ネジ山が微妙に異なります。誤ったネジを使用すると、ネジ山や部品が破損することがあります。
- ④複数のネジで部品を固定する際、最初に各ネジを緩く締め付け、部品が正しく取り付けられているかを確認してから、各ネジを増し締めしてください（締めすぎないように注意）。
- ⑤ドライバーの金属部分を磁石でこすると磁化され、先端でネジを保持しやすくなり、組み立てが楽になります。
- ⑥右・左の表記は、着座ドライバーから見た左右となります。

● 厳重注意 ● 一部の部品には磁石が使われています。磁石を誤飲すると、健康上の問題を生じる場合があります。こうした部品は子供の手の届かないところに置き、磁石を飲み込んだと思われる場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

GeneralMotors商標は、Premium&CollectiblesTradingCo.からAGORAMODELSがライセンスの許諾を受けて、使用しています。

AGORA  
MODELS

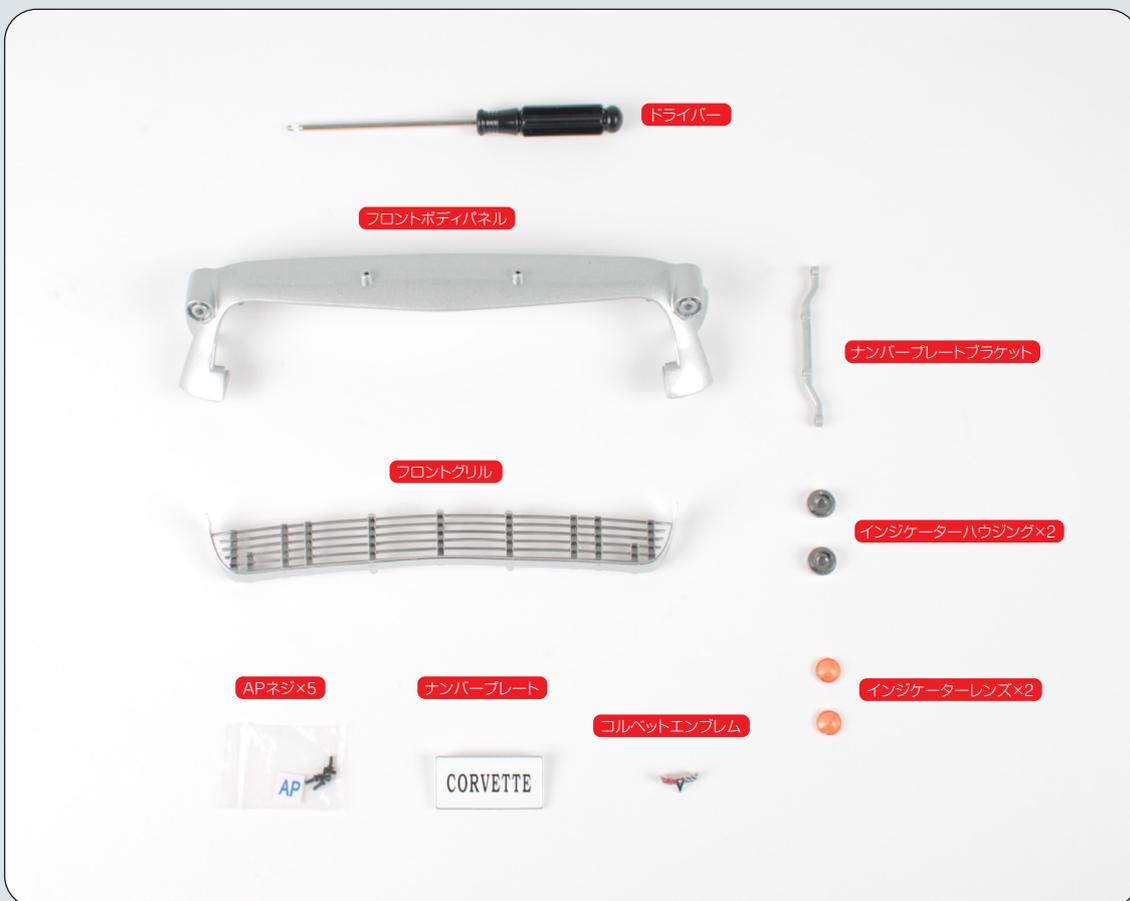
## ステージ①フロントボディパネル・エンブレムほか

フロントボディパネルにフロントグリルやインジケータ（ウィンカー）を組み込んでいきます。また、ナンバープレートにナンバープレートブラケットを取り付けます。ドライバーはここで開梱する精密ドライバーを使ってください。コルベットエンブレムは、あとの工程で使用します。

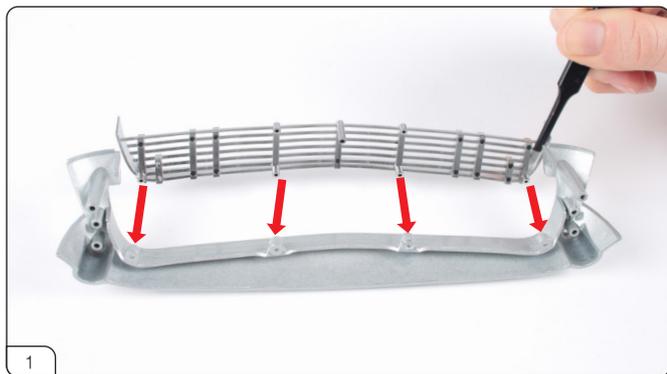


### ステージ①パーツリスト

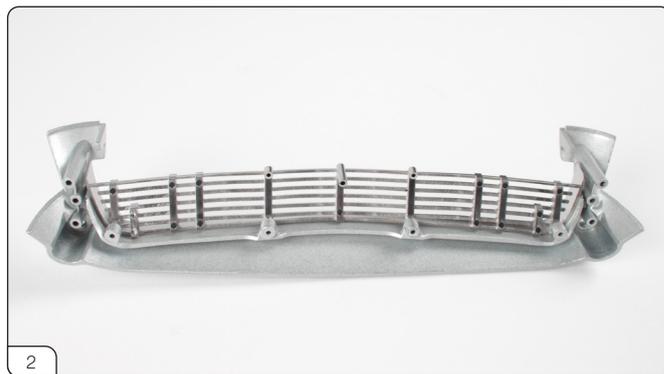
名称
精密ドライバー
フロントボディパネル
ナンバープレートブラケット
フロントグリル
インジケータハウジング×2
インジケータレンズ×2
ナンバープレート
コルベットエンブレム
APネジ×5



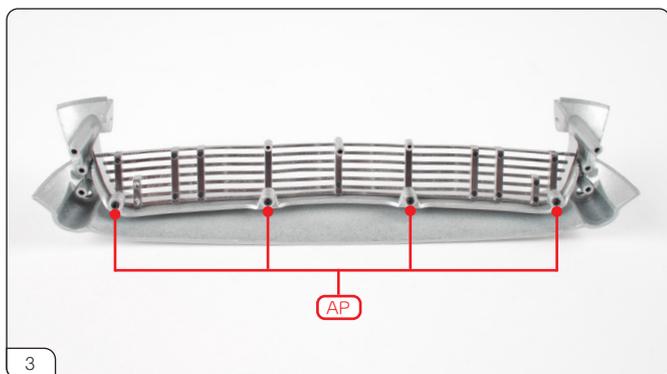
## ステージ①フロントボディパネル・エンブレムほか



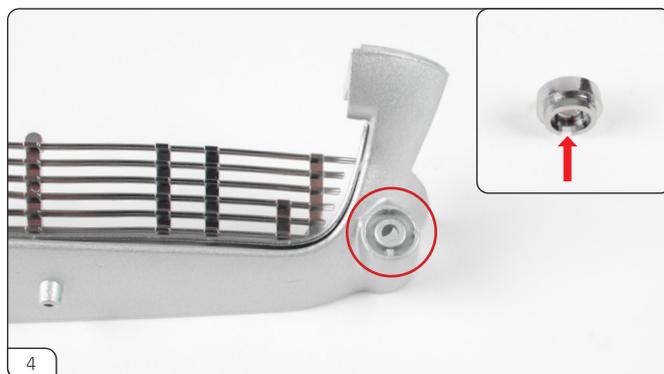
画像のようにフロントグリルの突起を、フロントボディパネルのネジ穴に合わせます (赤矢印)。フロントグリルを傷つけないように慎重に作業してください。



フロントグリルをフロントボディパネルのネジ穴に合わせて、はめ込んだ状態です。



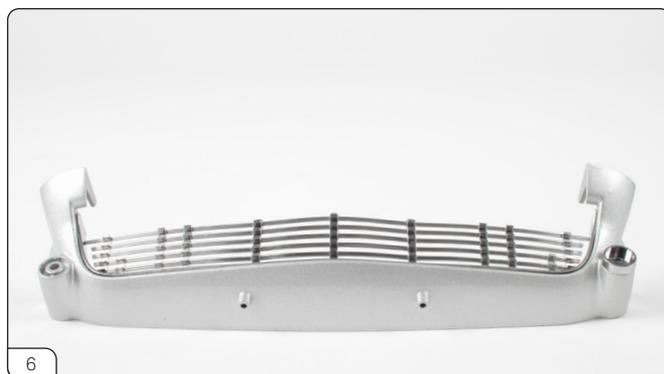
APネジ (4本) で固定します。



ボディパネルのフロント両サイドには、インジケータハウジングを取り付ける凹部 (赤丸印) があります。ここはインジケータハウジングの切り欠き (小写真/赤矢印) に合う形状をしています。

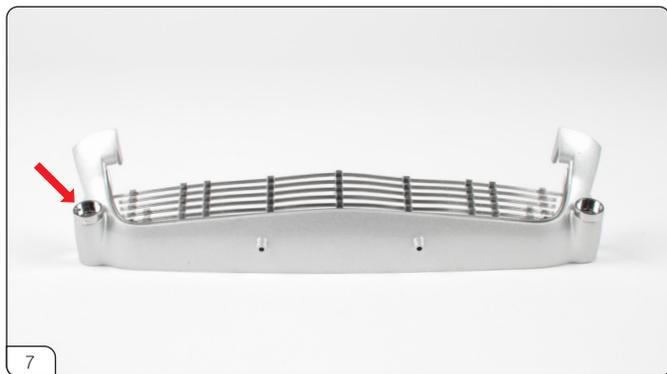


画像のようにインジケータハウジングの1つを、ボディパネル左側の凹部に合わせます (赤矢印)。

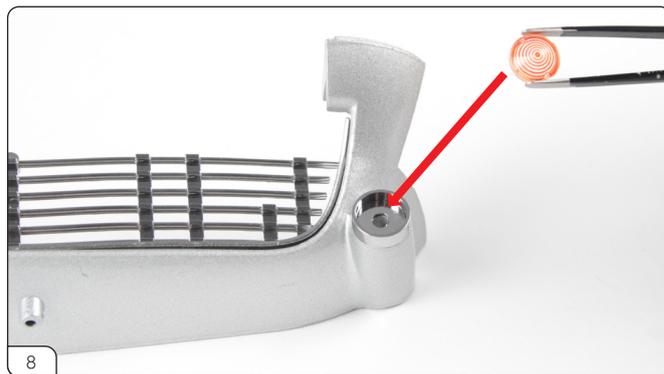


切り欠きにに合わせて、インジケータハウジングをボディパネルにはめ込みます。

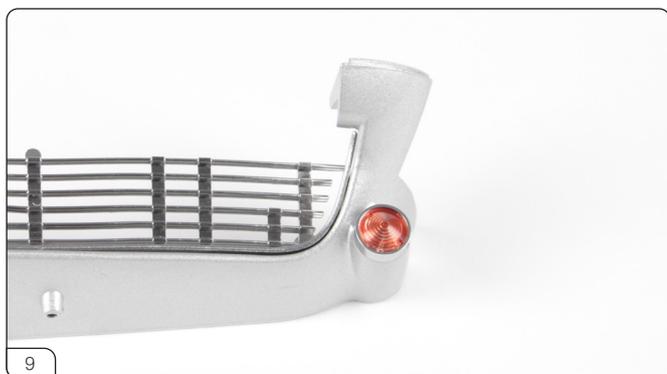
## ステージ①フロントボディパネル・エンブレムほか



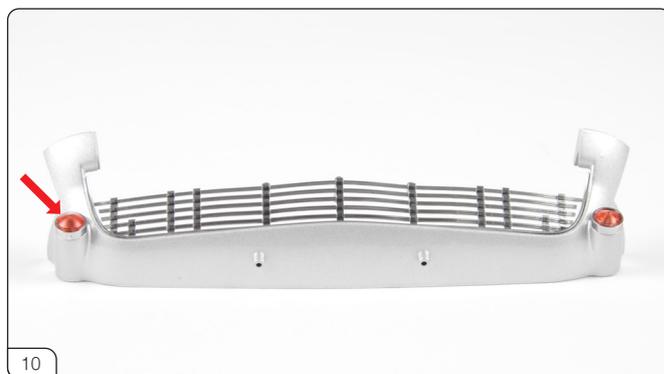
もう1つのインジケータハウジングを、ボディパネル右側の凹部に合わせてはめ込みます (赤矢印)。



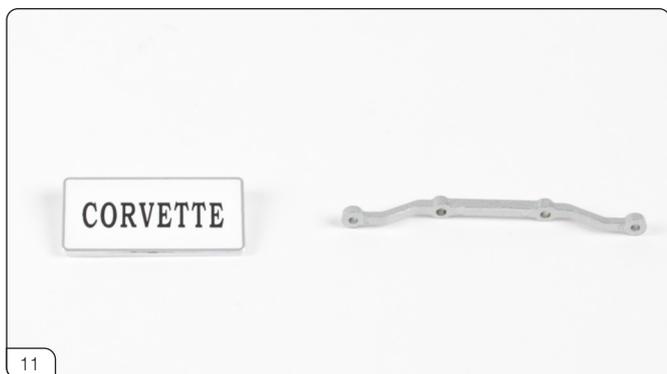
赤いインジケータレンズを左側のインジケータハウジングに合わせてはめ込みます (赤矢印)。



インジケータレンズをインジケータハウジングに押し込みます。



もう1つのインジケータレンズを右側のインジケータハウジングに押し込みます (赤矢印)。



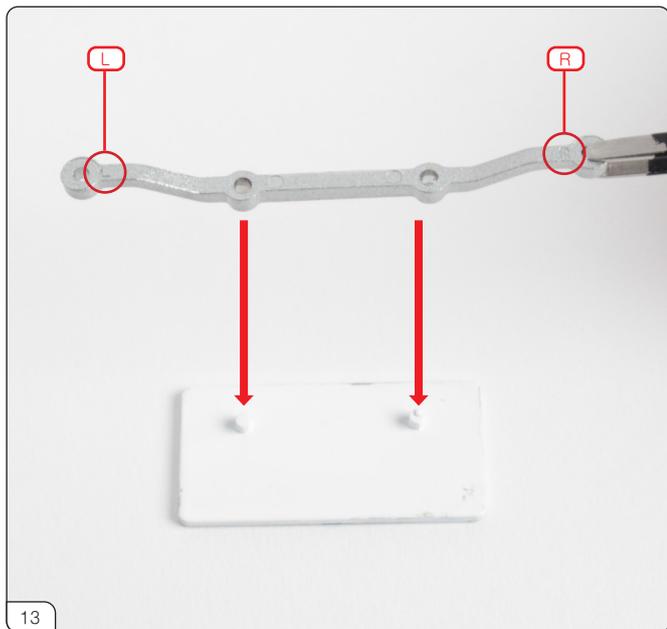
ナンバープレートをナンバープレートブラケットに取り付けます。

注意: 「1963年式 Stingray ディスプレイスタンド版」(特別限定販売) を作る場合には、限定版送付までこのナンバープレートは固定しないでください。



ナンバープレートブラケットには、「L」(左)と「R」(右)のマーク(赤丸印)があります。これを確認してください。

## ステージ①フロントボディパネル・エンブレムほか

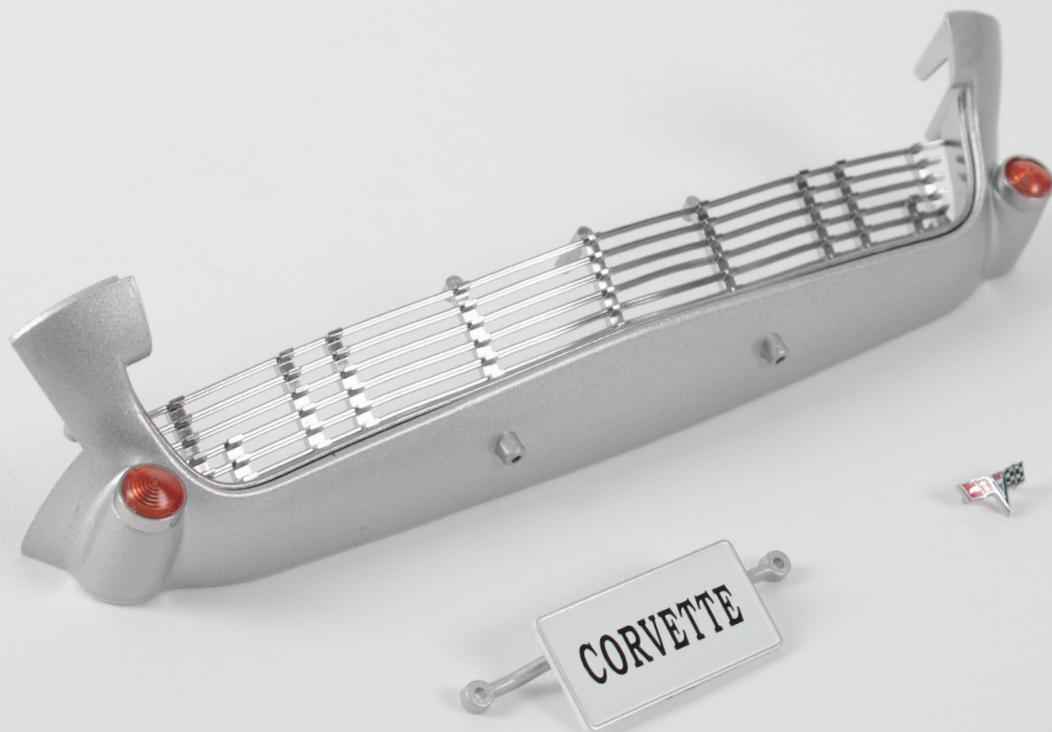


ナンバープレートを裏返して、画像のようにナンバープレートブラケットを配置します。ナンバープレートブラケットの穴とナンバープレートの突起が対応します。



ナンバープレートをナンバープレートブラケットの穴に押し込みます。

## ステージ①の完了



※コルベットエンブレムは、あとの工程で使用します。

## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか

ステージ①で組み立てたナンバープレートをフロントバンパーに取り付け、フロントボディパネルに組み込みます。フード(ボンネット)は、あとの工程で使用します。

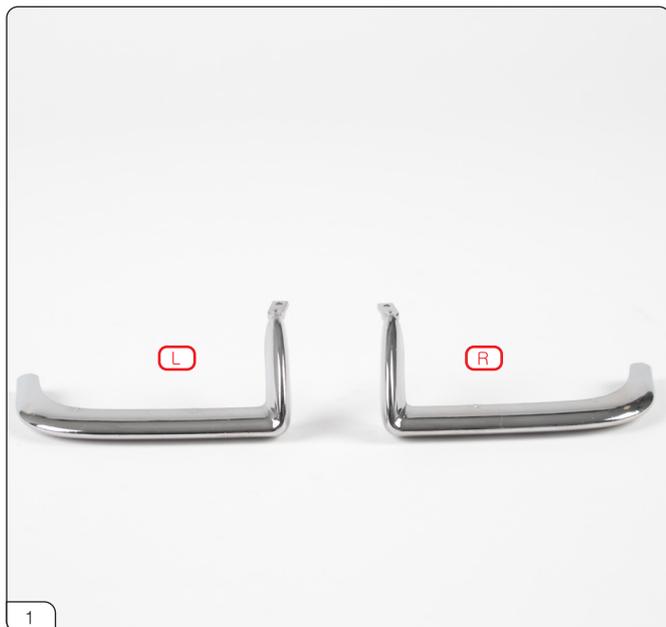


### ステージ②パーツリスト

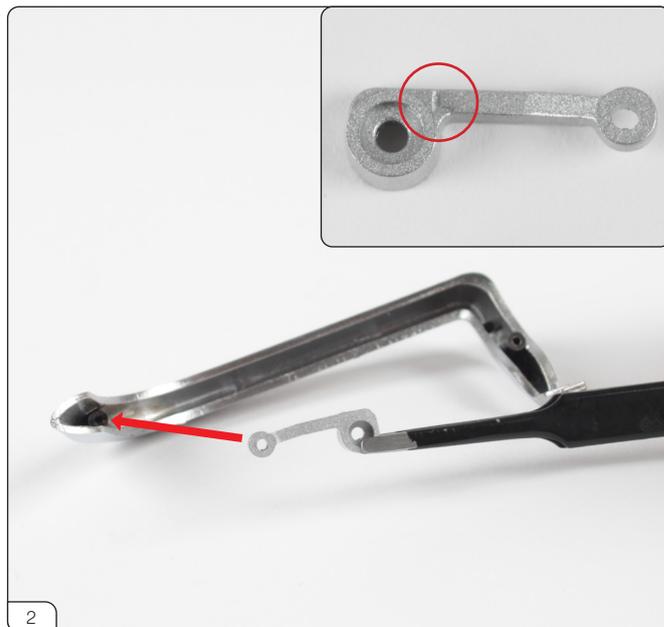
名称
フード
フロントバンパー (L)
フロントバンパー (R)
フロントバンパーブラケット (L)
フロントバンパーブラケット (R)
AMネジ×5
BPネジ×3
CPネジ×3



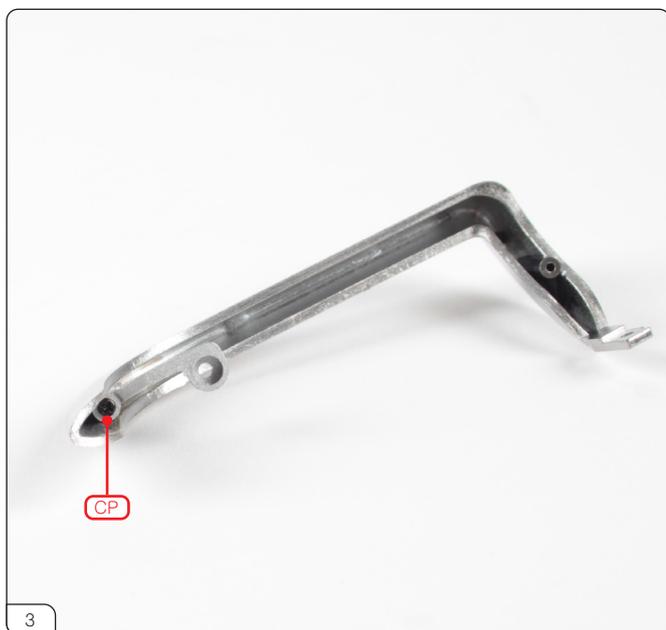
## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか



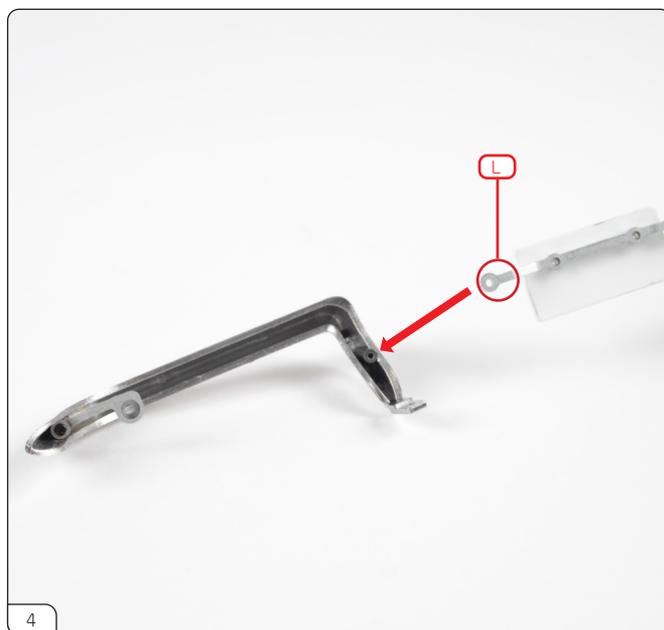
2つのフロントバンパーを左右に分けて作業面に置きます。



フロントバンパーブラケット (L/赤丸印) をフロントバンパー (L) に合わせます。バンパーの湾曲した部分の内側に、ブラケットをはめ込むネジ穴があります (赤矢印)。



フロントバンパーブラケットをフロントバンパー (L) にはめ込み、CPネジで固定します。



ステージ①で組み立てたナンバープレートブラケットのネジ穴を、フロントバンパー (L) のネジ穴に合わせます。

注意:「1963年式スティングレイ・ディスプレイスタンド版」(特別限定販売) を作る場合には、限定版送付までナンバープレートを付けずに、ナンバープレートブラケットだけを固定しておいてください。

## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか



ナンバープレートブラケットをBPネジで固定します。



同様の手順で、フロントバンパー (R) にナンバープレートブラケットをBPネジで固定します。



画像のように、ステージ①で組み立てたフロントボディパネル裏側の2つのネジ穴は、左右のフロントバンパーから出ているタブの上に配置します (赤矢印)。フロントボディパネルの青丸印は、フロントバンパーブラケット (L) の赤丸印にはめ込まれます。

## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか

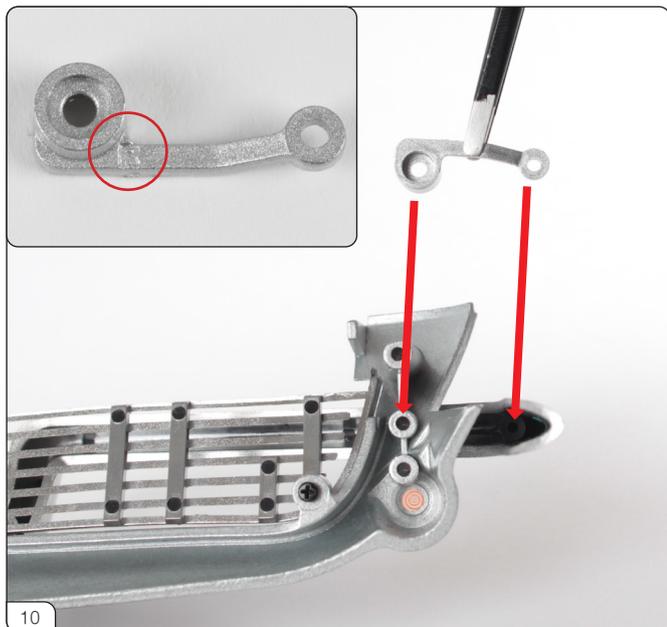


フロントボディパネルの穴とフロントバンパーブラケット (L) のネジ穴を合わせます (赤矢印)。左右のフロントバンパーから出ているタブの上に、フロントボディパネル裏側の2つのネジ穴を合わせます (青矢印)。

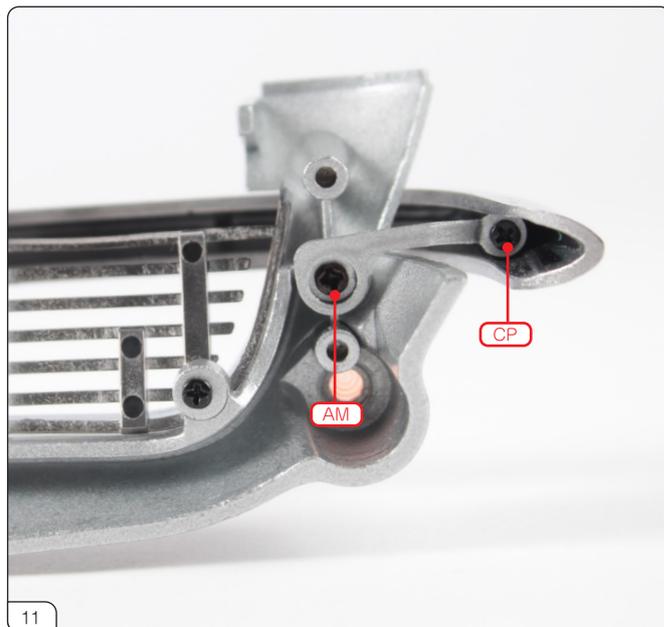


フロントボディパネルとフロントバンパーが、所定の位置に配置された状態です。フロントバンパーブラケット (L) とフロントボディパネルをAMネジで固定します。フロントバンパー (R) とフロントボディパネルは、次の工程で固定します。

## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか



フロントバンパーブラケット (R/赤丸印) を、画像のようにフロントボディパネルとフロントバンパー (R) に合わせます。



フロントバンパーブラケット (R) は、フロントボディパネルとフロントバンパー (R) のネジ穴にはめ込みます。フロントボディパネルをAMネジ、フロントバンパー (R) をCPネジで固定します。



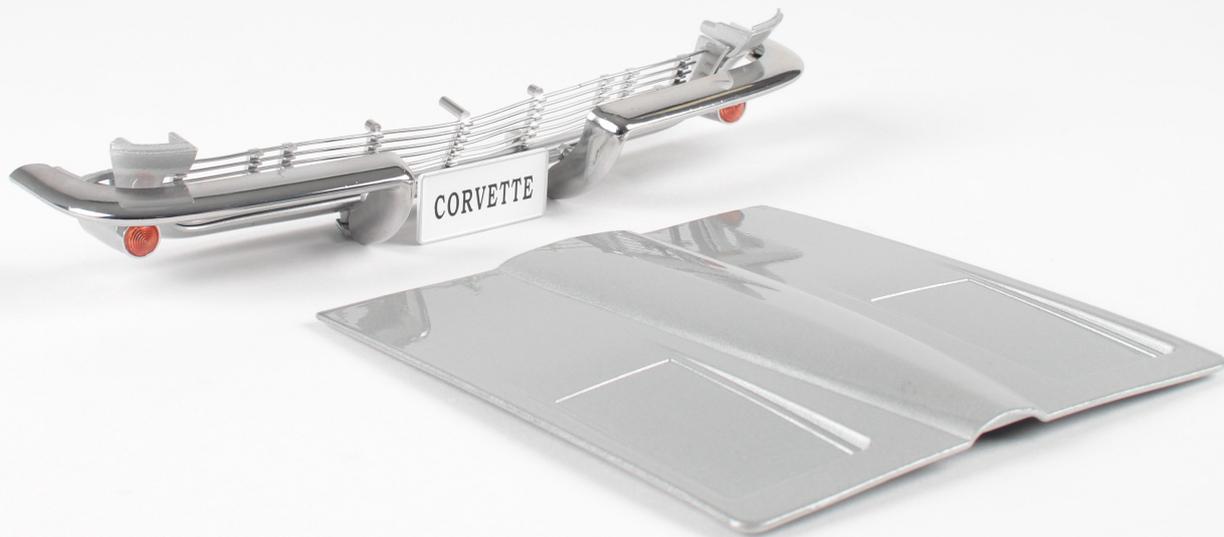
フロントボディパネルを裏返して、フロントバンパーのタブをフロントボディパネル裏側のネジ穴に合わせます (赤丸印)。



AMネジ (2本) でフロントバンパーのタブを固定します。

## ステージ②フロントバンパー・ナンバープレートほか

ステージ②の完了



※フード(ボンネット)は、あとの工程で使用します。

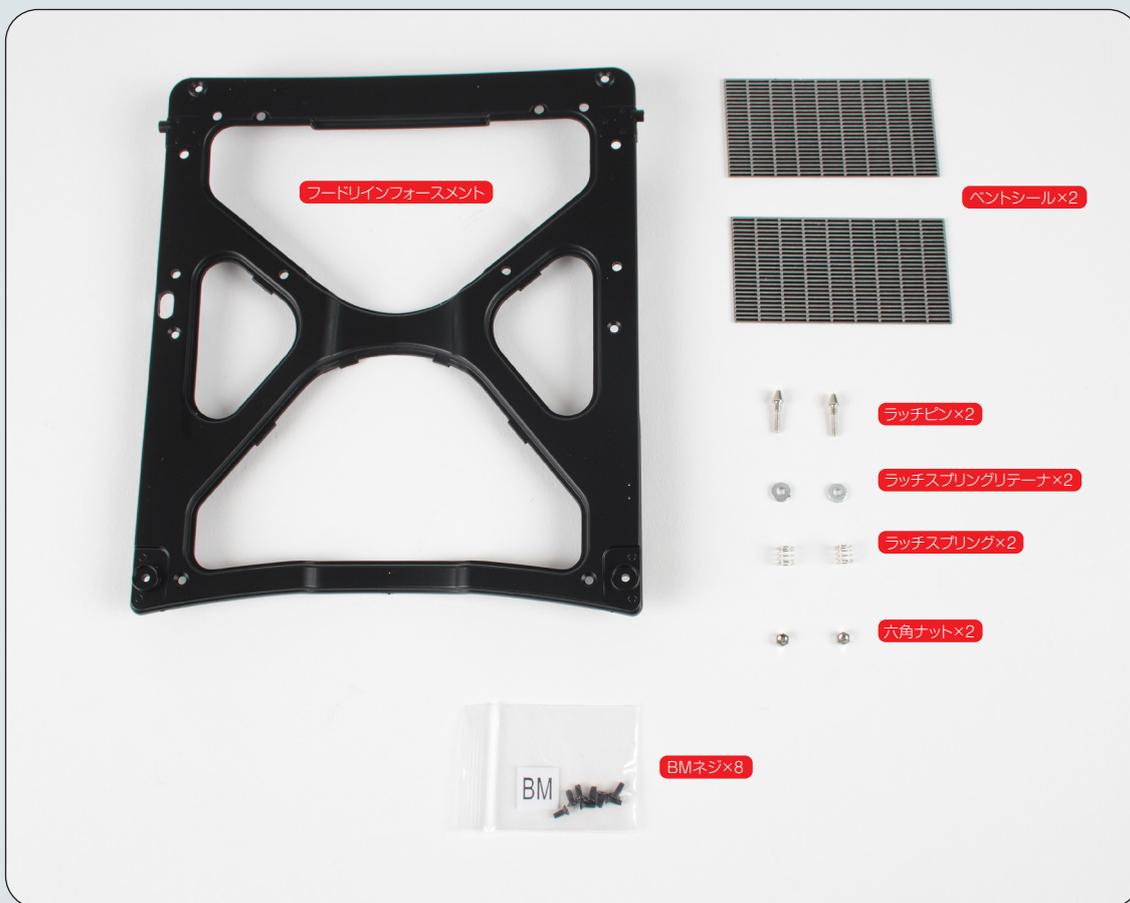
## ステージ③フードラインフォースメント・ベント・ラッチ

フードのラッチとベントを組み立て、フードの裏面にフードラインフォースメント(フード補強材)を取り付けます。

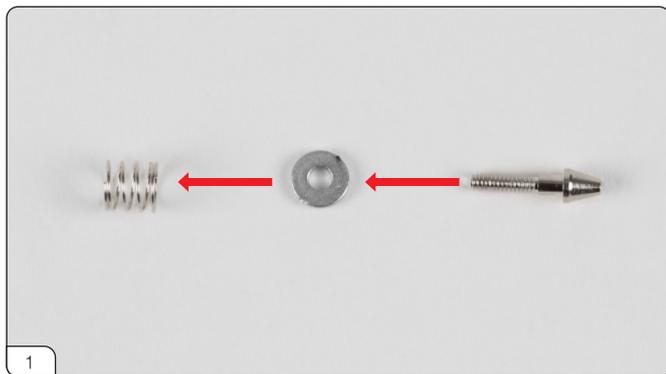


### ステージ③パーツリスト

名称
フードラインフォースメント
ベントシール×2
ラッチピン×2
ラッチスプリングリテーナ×2
ラッチスプリング×2
六角ナット×2
BMネジ×8



## ステージ③フードインフォースメント・ベント・ラッチ



ラッチを組み立てます。ラッチピンをラッチスプリングリテーナ、ラッチスプリングの順に通します(赤矢印)。



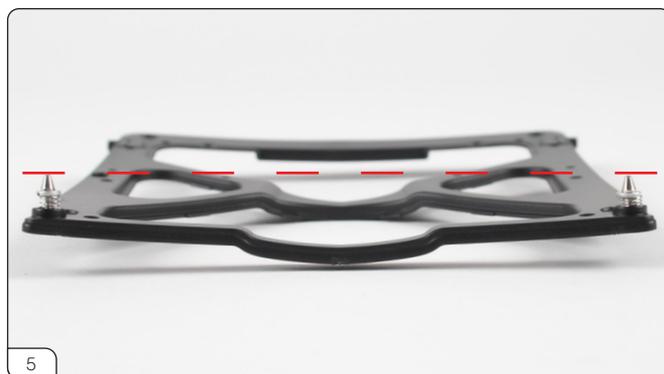
工程1の作業を繰り返して、2組のラッチを組み立てます。



画像のようにフードインフォースメントを置き、組み立てたラッチを外側両サイドの穴(上写真の赤丸印)に差し込みます。



ラッチピンを六角ナットで固定します。スプリングを圧縮しながら、ラッチピンのネジの先端部分がナットと同じ高さになるまでナットをねじ込みます(赤矢印)。



同じ作業を繰り返して、左右のラッチピンを固定します。スプリングの圧縮加減は画像の状態が適切です。ラッチピンの先端が水平になるように調整します(赤破線)。

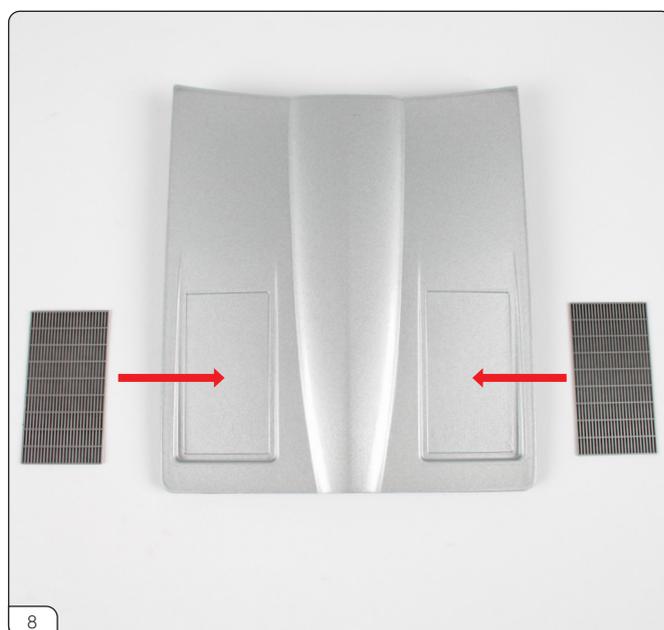
## ステージ③フードラインフォースメント・ベント・ラッチ



ステージ②で開梱したフードを裏返して置きます。塗装を傷付けないように、柔らかい布などの上で作業してください。ラッチピンの円錐形の端が上を向くように、フードラインフォースメントをフードに合わせます。6つの赤丸印のネジ穴を合わせて、フードラインフォースメントを配置します。



フードラインフォースメントをフードにはめ込み、BMネジ（6本）で固定します。固定するには各コーナーを緩めに締めて、フードラインフォースメントが所定の位置に収まったのを確認して、6本のネジを軽く締め増ししてください。



フードを表側にします。フードの通気口（赤矢印）の凹みにベントシールを貼ります。

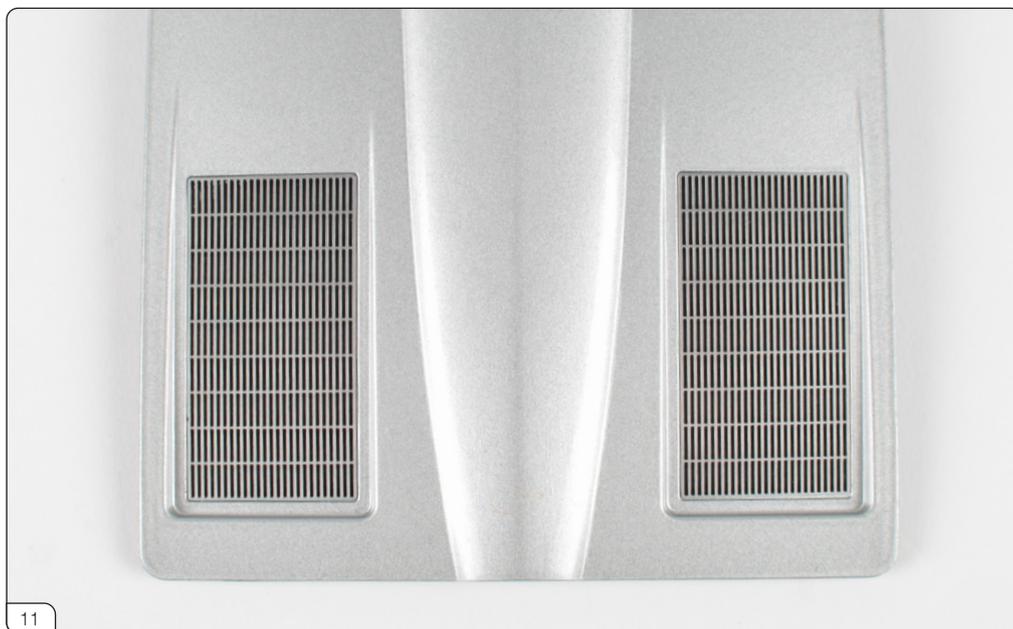
## ステージ③フードインフォースメント・ベント・ラッチ



ベントシールの台紙をはがします。



ベントシールをフードの凹部に合わせて貼り付けます。上部分（赤矢印）を決めて、左右が揃うように慎重に貼っていきます。



もう片方も同様に作業します。

## ステージ③フードラインフォースメント・ベント・ラッチ

ステージ③の完了



## ステージ④タイヤ1

1本目のタイヤを組み立てます。まずは63年型に採用された、オリジナルのスチールホイールを使って組み立てます。パック5でアルミ製ロックオフホイールが届きますので、その時点でどちらを選ぶか選択できます。



## ステージ④パーツリスト

### 名称

アウターホイールリム

6本スポークホイールカバー

インナーホイールリム

タイヤ

スリーバースピナー

CMネジ×3

DPネジ×3



アウターホイールリム



6本スポークホイールカバー



インナーホイールリム



タイヤ



スリーバースピナー



CMネジ×3

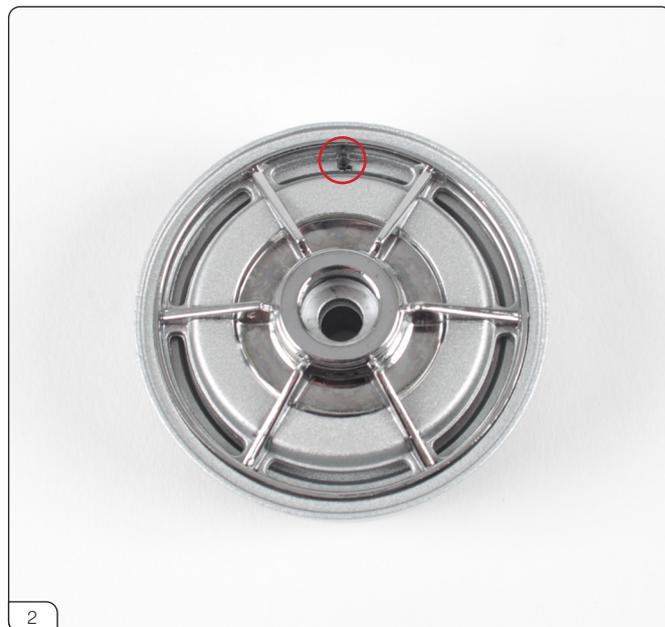


DPネジ×3

## ステージ④タイヤ1



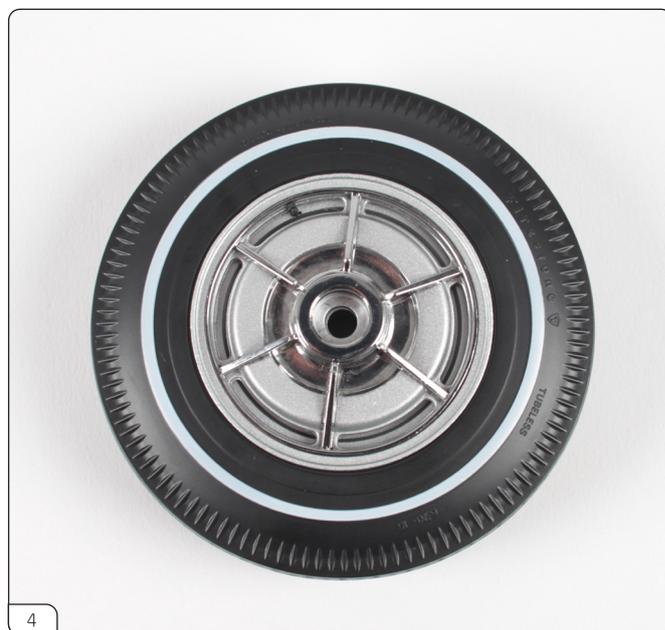
アウターホイールリムのエアバルブ (赤矢印) と6本スポークホイールカバーの半月形の切り欠き (赤丸印) を確認します。



半月形の切り欠きをエアバルブに合わせて (赤丸印)、2つのパーツをしっかりとめ込みます。

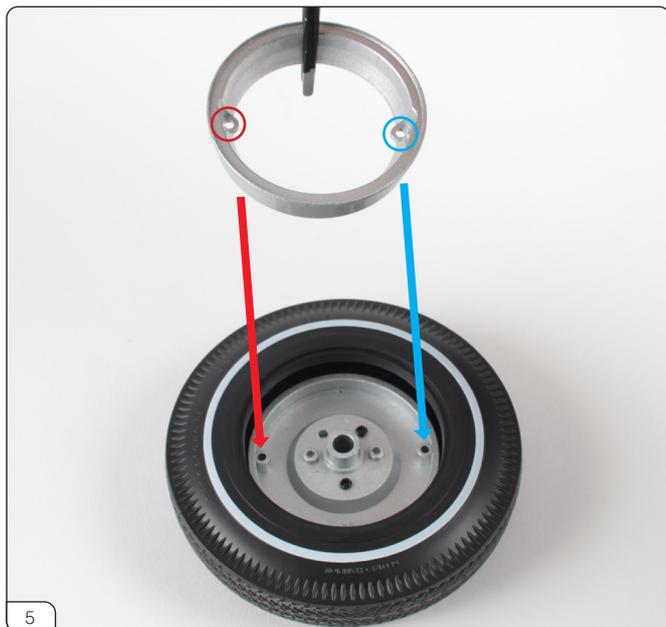


アウターホイールリムを裏返して、「3」 (赤丸印) が画像の位置になるように配置します。DPネジ (2本) でパーツを固定します。赤矢印のネジ穴は、フリーの状態にしておきます。



6本スポークホイールカバーを上にして、タイヤにアウターホイールリムを押し込みます。アウターホイールリムは、均等かつ水平にタイヤに押し込みます。

## ステージ④タイヤ1



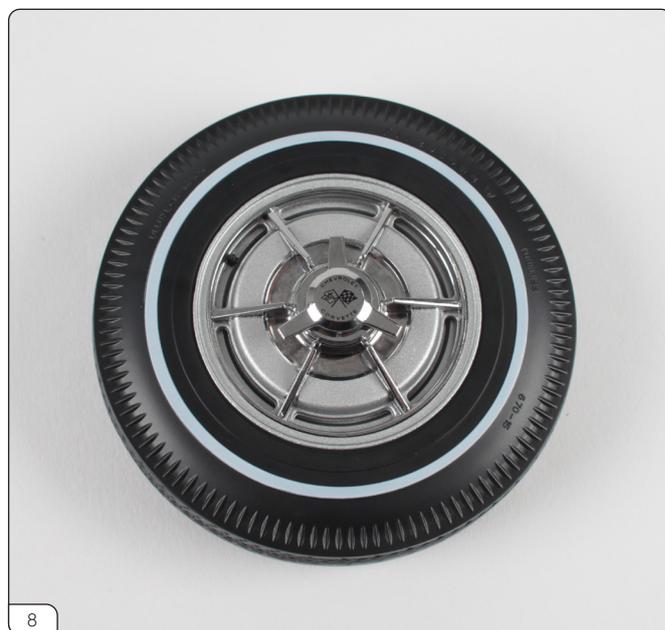
アウターホイールリムを裏返して、インナーホイールリムを取り付けます。インナーホイールリムの丸印(赤青)とアウターホイールリムの矢印(赤青)を合わせます。



インナーホイールリムをタイヤにはめ込み、CMネジ(2本)で固定します。タイヤの縁が、インナーホイールリム外縁のリップの下に収まっていることを確認してください。



6本スポークホイールカバーに、スリーバースピナーをはめ込みます(赤矢印)。



6本スポークホイールカバーの凹部に、スリーバースピナーを均等に押し込みます。スリーバースピナーの向きは、押し込むと同時にねじりを加えて調整します。

## ステージ④タイヤ1

ステージ④の完了



## ステージ⑤フューエルインジェクションユニット

燃料と空気の混合気をエンジンのピストン内に噴射する、フューエルインジェクションユニットを組み立てます。

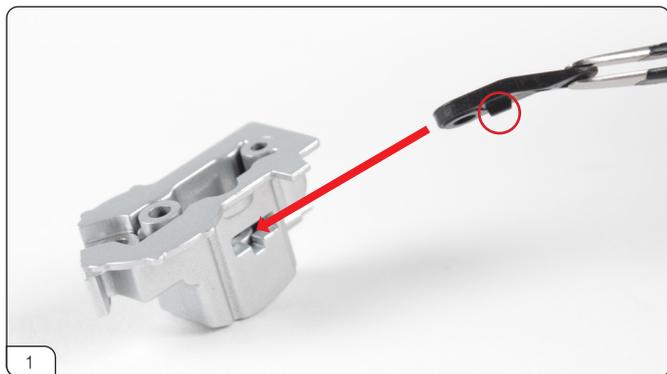


### ステージ⑤パーツリスト

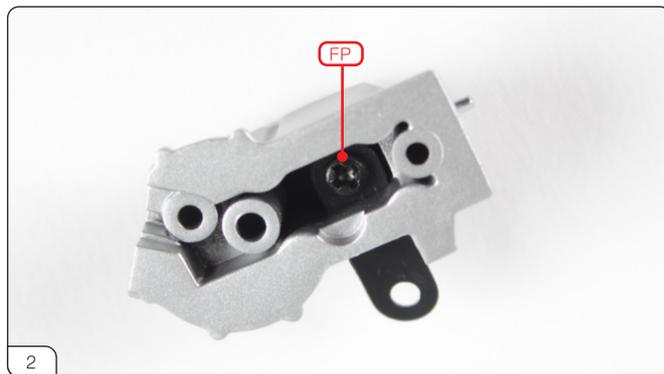
名称
フューエルインジェクションユニットハウジング
フューエルメーター本体
エンリッチメントハウジング
フューエルメーターカバー
ブラケット
フューエルインジェクションユニットカバー
燃料噴射ノズル (L) ×2
燃料噴射ノズル (R) ×2
フューエルパイプ (ロング)
フューエルパイプ (ショート)
DMネジ×2
EPネジ×2
FPネジ×4



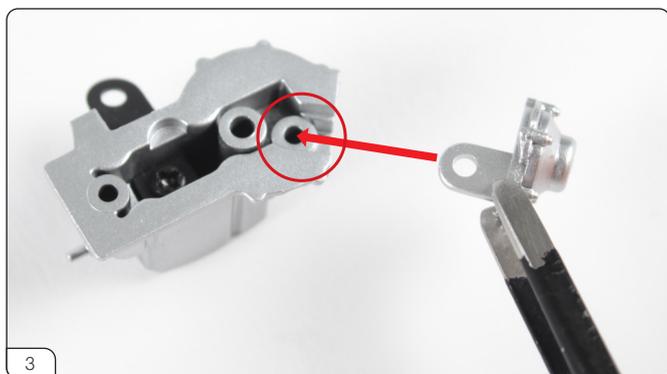
## ステージ⑤フューエルインジェクションユニット



フューエルメーター本体にブラケットを取り付けます。本体には切り欠きのあるスリットがあります(赤矢印)。ブラケットの突起(赤丸印)をガイドにして、切り欠きにはめ込みます。



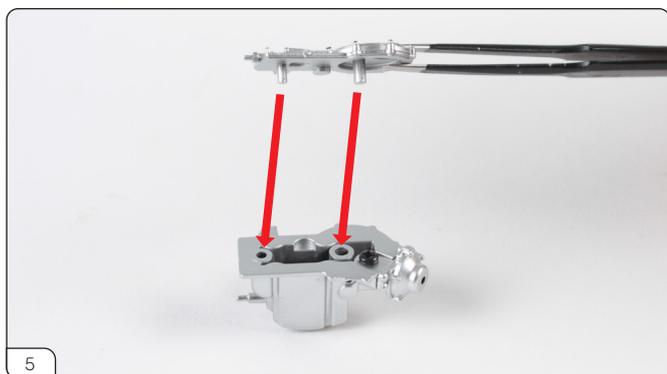
ブラケットをFPネジで固定します。



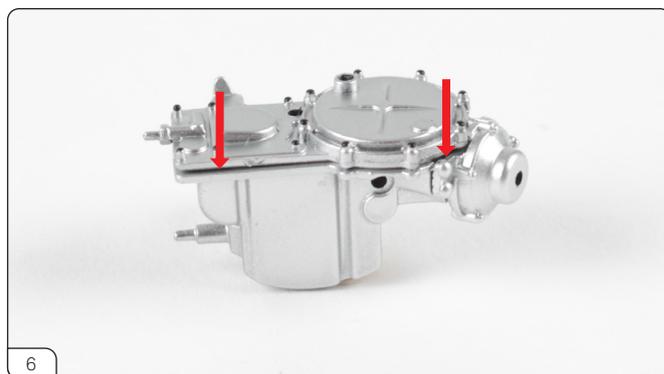
エンリッチメントハウジングを、フューエルメーター本体の凹み(赤丸印)にはめ込み、タブのネジ穴を合わせます。



エンリッチメントハウジングをEPネジで固定します。

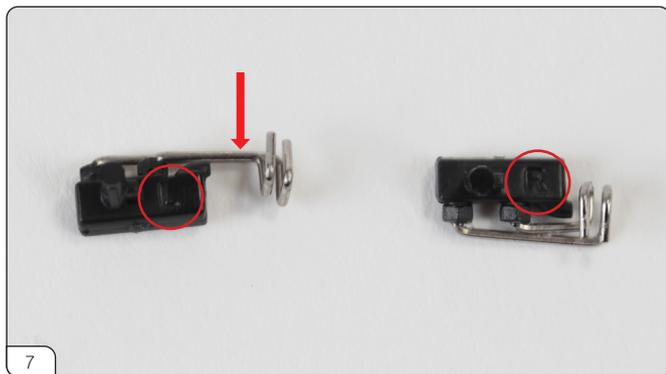


フューエルメーターカバーの突起を、フューエルメーター本体の穴に合わせます(赤矢印)。



隙間ができないように、フューエルメーターカバーをしっかりと押し込みます(赤矢印)。

## ステージ⑤フューエルインジェクションユニット



燃料噴射ノズルをフューエルインジェクションユニットハウジングに取り付けます。パーツには「L」と「R」の表記があり（赤丸印）、左右の区別があります。左のノズルは金属部分が長くなっています（赤矢印）。



燃料噴射ノズルは、フューエルインジェクションユニットハウジングの赤丸印の穴に押し込みます。まず、左の燃料噴射ノズルの突起を赤矢印の穴に合わせます。



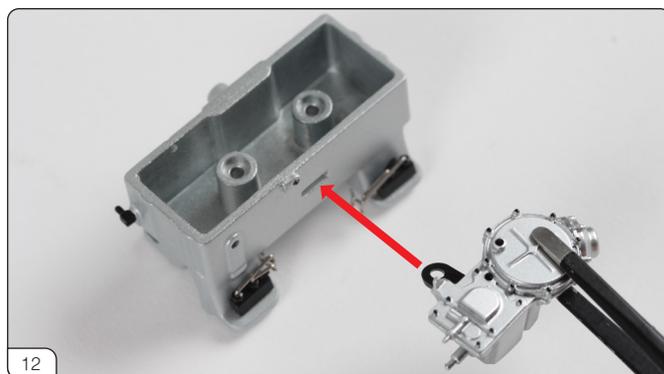
左の燃料噴射ノズルを、フューエルインジェクションユニットハウジングの穴に押し込みます。



右の燃料噴射ノズルを反対側の穴（赤矢印）に押し込みます。

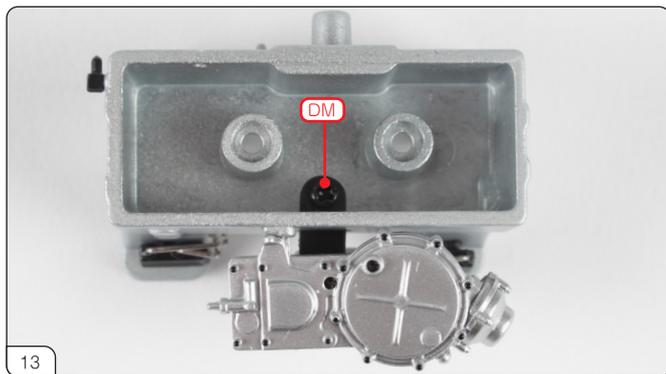


フューエルインジェクションユニットハウジングの反対側にも、左右の燃料噴射ノズルを取り付けます。

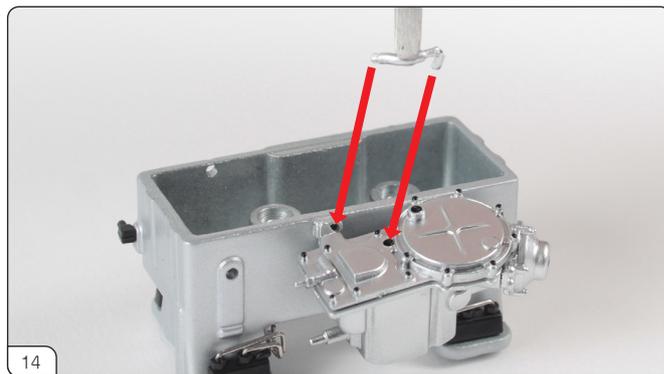


工程6で組み立てたフューエルメーターを、画像のようにフューエルインジェクションユニットハウジングに合わせます。ハウジングには、ブラケットをはめ込むスリットがあります（赤矢印）。

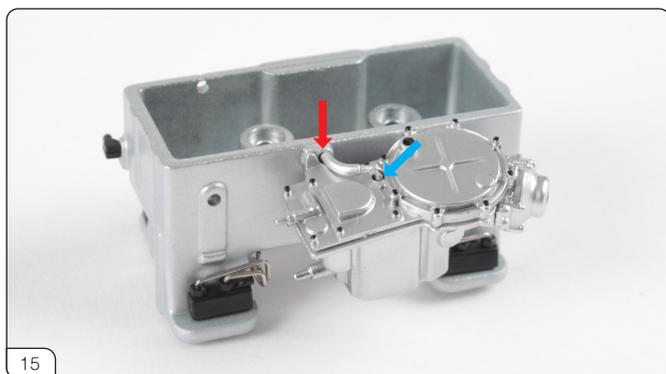
## ステージ⑤フューエルインジェクションユニット



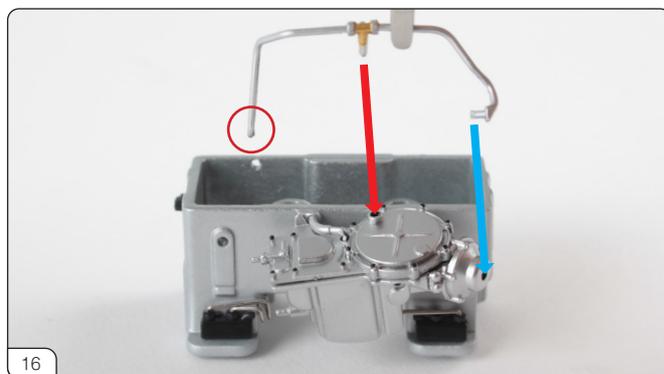
13  
フューエルメーターをフューエルインジェクションユニットハウジングに差し込み、DMネジで固定します。



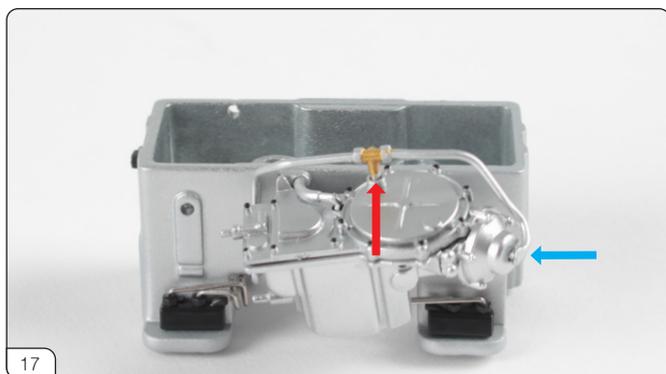
14  
フューエルパイプ (ショート) を画像のように配置します。パイプの末端は、フューエルインジェクションユニットハウジングとフューエルメーターの穴にはめ込みます (赤矢印)。



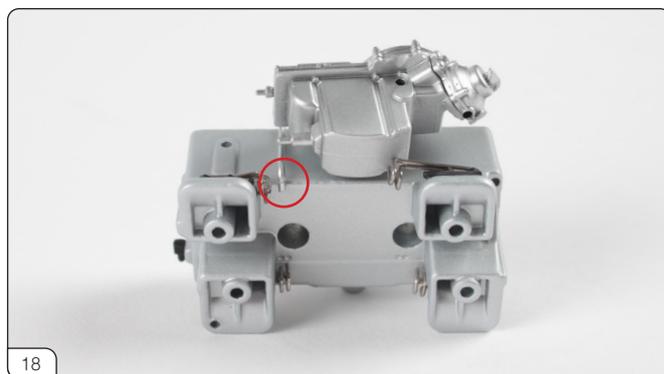
15  
最初にフューエルインジェクションユニットハウジングの穴 (赤矢印) にフューエルパイプ (ショート) を差し込み (赤矢印)、曲がった末端をフューエルメーターカバーの穴 (青矢印) に差し込みます。



16  
フューエルパイプ (ロング) を画像のように配置します。赤丸、赤矢印、青矢印が配管する末端です。

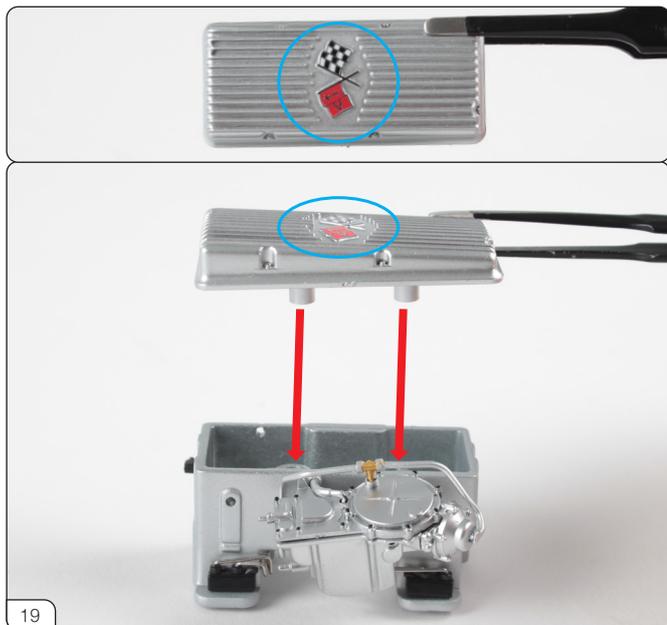


17  
最初にフューエルパイプ (ロング) のベントした部分を、エンリッチメントハウジングの穴にはめ込みます (青矢印)。続いて中央の銅色の突起を、フューエルメーターカバーの穴にはめ込みます (赤矢印)。



18  
残りの末端は裏側の穴にはめ込みます (赤丸印)。

## ステージ⑤フューエルインジェクションユニット



フューエルインジェクションユニットカバーをフューエルインジェクションユニットハウジングに取り付けます。2本の支柱をネジ穴に合わせてはめ込みます。コルベットのエンブレムは、青丸印の向きとなります。



フューエルインジェクションユニットカバーをはめ込み、裏側からFPネジ(2本)で固定します。

## ステージ⑤の完了

